



# も く じ

<b>1 顔の感情表現における神経心理学と意識について</b> (デイビッド松本)……	1
1.1 はじめに	2
1.2 感情と顔の感情表情に関する研究	3
1.3 文化的ディスプレイ・ルールの影響	15
1.4 脳による顔の感情表情の制御	17
1.5 これからの研究を旨として	25
Q and A	27
<b>2 生体“リズム”と医学</b> (田村康二) ……………	35
2.1 はじめに	36
2.2 再現性を調べ治療の効果を判定する	37
2.3 自分の体を使って観測した Halberg 先生の発見	39
2.4 生物リズムを元に診断と治療をする	42
2.5 生物リズムは存在する	44
2.6 時間医学について	46
2.7 個人の生体现象に合った治療の必要性	52
2.8 おわりに	59
Q and A	59
<b>日本型システムにおける〈ゆらぎ〉</b> (濱口恵俊) ……………	69
3.1 はじめに	70
3.2 日本人の「状況型社会行動」	70
3.3 ホロンとしての人間モデル	79

3.4	日本論のパラダイム・シフト	86
3.5	間人主義の実証データ	89
	Q and A	95
<b>4</b>	<b>化学システムのゆらぎ (妹尾 学)</b>	<b>101</b>
4.1	はじめに	102
4.2	化学者とゆらぎ	102
4.3	散逸構造に対するゆらぎの効果	108
4.4	非平衡系におけるゆらぎ	119
4.5	ミクロとマクロのゆらぎ	128
4.6	おわりに	134
	Q and A	135
<b>5</b>	<b>ゆらぎの解析とその応用 (飛田武幸)</b>	<b>139</b>
5.1	はじめに	140
5.2	ゆらぎの数学	141
5.3	温故 (ふるきをたずねて)	142
5.4	コーゾル-カルキュラス	149
5.5	イノベーション	151
5.6	ゆらぐ非線形現象	156
5.7	ホワイトノイズ解析	160
5.8	調和解析	164
	Q and A	166

